

乳がんの研究のこと、 いっしょに考えてみませんか？

日本臨床腫瘍研究グループ・乳がんグループ(JCOG)では、患者さん・体験者の方、ご家族の皆さんと一緒に乳がんの臨床試験について考えるシンポジウムを企画しました。

ステージ 乳がんの治療について手術をした方が良いのか、手術をしない方がよいのかを比較した「JCOG1017試験」を元に、ぜひ、みなさんの声を聴きながら、結果について一緒に考えてみたいと思います。

すべての質問には答えられないかもしれませんが、事前質問も募集中です。参加申し込みの後に届くメールに、皆さんが聞きたいことをご記入ください。

日時

2026年8月8日(土)
10:00～11:30

参加方法

Zoomウェビナー
WEBから参加

参加費

無料
事前登録制

当日のプログラム

- 10:00 **開会挨拶・趣旨説明**
本会の趣旨と進行のご案内——藤澤知巳(群馬県立がんセンター)
- 10:05 **ミニ講座「臨床試験とは何か」**
臨床試験の基礎、JCOGの試験と治験の違い——原文堅(愛知県がんセンター)
- 10:15 **JCOG1017 研究結果のご報告**
研究の背景と結果を、わかりやすくお伝えします——枝園忠彦(岡山大学病院)
- 10:40 **パネルディスカッション**
皆さんからお寄せいただいた質問を参考に、JCOG乳がんグループに参加している、患者、医師、看護師、臨床試験コーディネーター(CRC)で話し合います。
- 11:10 **アンケートご案内・閉会挨拶**
今後の企画に活かすため、ご感想をお寄せください

ご参加をお待ちしています

参加申込受付：/ 8月1日(土)12時まで。先着100名様まで。



お申込みはこちら